

# 流域マネジメントの手引き改定のポイント

- 「流域マネジメントの手引き」は、流域マネジメントに関するノウハウを実務者向けに取りまとめたものとして、平成30年に策定。水循環基本計画の改定等を踏まえるとともに、流域水循環計画は、令和5年9月時点で70計画となっているものの、更に展開させるために見直しを行ったもの。
- 手引きの見直しにあたり、以下の観点を改定のポイントとした。
  - ①流域治水、②企業等との連携、③水循環の評価指標・評価手法の活用を充実、④流域マネジメントのメリットを拡充、⑤流域水循環計画のひな型を例示、⑥構成の見直し(本編はノウハウを中心とし、具体的事例は参考資料編へ記載)。

## 新しく充実させた内容

### 流域治水

- 水循環基本計画の一部見直しで流域治水に関する取組が追加されたことを踏まえ、流域治水の取り組み推進、流域水害対策協議会や流域水害対策計画等について記述。

### 企業等との連携

- 流域マネジメントへの多様な主体の参画、健全な水循環の維持・回復に興味を有している企業等の流域マネジメントに関する理解を促す観点から、企業等との連携について新たに記載。
- 記載に当たっては、流域マネジメントに関する取組という観点だけでなく、企業側の観点も考慮。

### 水循環の評価指標・評価手法の活用

- 令和4年9月に水循環の健全性や流域マネジメントに係る取組みの効果等が見える化する「水循環の健全性・流域マネジメントの取組の効果を「見える化」する手引き」を公表したことを踏まえ、流域水循環計画の進捗の評価や見直しに活用することを記述。

## 改善した内容

### 流域マネジメントのメリット

- 流域マネジメントに取り組んだことによる成果について、若い世代の参加や企業に対する評価向上を追加し、「健全な水循環の維持・回復の推進」と「流域マネジメントによる効果」に分類し、拡充。

### 流域水循環計画のひな型を例示

- 流域マネジメントの核となる流域水循環計画の策定を効率よく進めていく観点から、参考としてひな型を例示。

### 構成の見直し

- 本編には、流域マネジメントのノウハウを中心に記載し、具体的な流域マネジメントの事例や参考情報は、地域振興や地下水に関わる情報を追加・更新した上で参考資料編に記載することで、手引きを見やすく・使いやすくした。